

第6章 医療情報システム導入計画

1 基本方針（システム導入の考え方）

医療の質や患者利便性の向上、業務の合理化等を目的として、新病院開院時（平成32年度）に医療情報システムの拡張を図ります。

（1）システムの更新

- ・電子カルテシステムや放射線画像管理システム等の各医療情報システムは、5年保守+ハードウェア1年延長保守の6年保守（6年稼動）を原則としています。
- ・新病院開設（平成32年度）前に更新時期が来るシステムについては、現病院でシステム更新を行い、新病院開設時にはシステムを移設します。
- ・新病院開院前に更新するシステムは、次のとおりとします。

更新年度	システム名
平成27年度	放射線画像管理システム（PACS）
〃	放射線業務管理システム（RIS）
平成28年度	病院情報システム（電子カルテ）
〃	検査システム
〃	薬局（調剤）システム

（2）システムの拡張機能

- ・現病院からの移設に伴い必要となる作業と併せて次の拡張機能を整備します。

拡張機能	概要
スマートフォンを用いたIP電話（PHSの代替）	<ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテ系データネットワークを利用して院内の電話網を構築します。 ・PHS利用をスマートフォン利用に変更します。
スマートフォンを用いたナースコール（病室からの看護師呼出し）連動	<ul style="list-style-type: none"> ・ナースコールをスマートフォンに転送します。 ・現行のPHSによるナースコール連動に替わる機能となります。
スマートフォンを用いた看護支援業務	<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者の注射等実施登録など3点認証（患者、注射指示内容、注射実施者の3点チェック）をします。
外来待ち時間案内表示	<ul style="list-style-type: none"> ・外来患者の診察待ち状況や会計待ち状況を、待合室や診察室前で画面表示します。
入院患者位置情報管理	<ul style="list-style-type: none"> ・監視カメラと顔認証機能を用いて、病棟から外に出る患者がいたら、パトライトおよびスマートフォンに通知します。
新病院への機器移設	<ul style="list-style-type: none"> ・既存サーバー室からサーバーおよびネットワーク機器の移設をします。 ・既存端末の移設および動作確認をします。 ※現病院からの移設に伴い必要となる作業です。
新病院のネットワーク工事	<ul style="list-style-type: none"> ・新病院で医療情報システムネットワークの配線工事をします。 ※現病院からの移設に伴い必要となる作業です。
新病院サーバー室構築	<ul style="list-style-type: none"> ・新病院開設時に、サーバー室を新病院に開設するための空調や電源などの条件設定をします。

2 新病院開設時のシステム概念・体系

新病院開院後の医療情報システムの体系は次のように想定します。



3 導入スケジュール

開院までの導入スケジュールは次のとおりです。

開院6ヶ月前	開院4ヶ月前	開院2～1ヶ月前	新病院開院（当月）
・医療機器インターフェースの仕様確認 ※1	・ネットワーク工事 ・医療機器との事前接続テスト（工場） ※2	・医療機器搬入 ・医療機器との事前接続テスト（現地） ※3	・医療情報システム移設 ・医療機器との接続

※1：インターフェースに特注が入る場合は、新病院開設の半年以上前から調整が必要な場合があります。

※2：接続実績のない医療機器の場合は、機器販売業者の工場等で事前接続テストを行います。

※3：医療情報システムは、現病院設置状態で接続テストを実施します。接続テストのために、新病院と現病院間でネットワークを敷設する必要があります。